

支援プログラム

事業所 理念	1. 生命の尊厳 一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。 2. 個人の尊厳 一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。 3. 人権の擁護 いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、人としての権利を擁護します。 4. 社会への参加 年齢、障害の状態等にかかわらず、社会を構成する一員としての市民生活が送れるよう支援します。 5. 専門的な支援 自ら専門的役割と使命を自覚し研鑽を重ね、障害のある人たちの一人ひとりが豊かな生活を実感し、充実した人生が送れるよう支援し続けます。		
支援方針	・本人のペースを基本とし、コミュニケーションを取りながら環境に馴染み、安心して活動できるよう支援します。 ・たくさんの人と係り、さまざまな活動（日常生活充実のための療育・創作・交流・余暇の提供など）を通して、日常生活の経験を積み重ねます。 ・さまざまな経験から成功体験を積み、自己肯定感を育みます。		
営業時間	9 時 から 18 時 まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・心身、健康状態の把握（検温、手洗い、表情確認 等） ・生活リズムの安定（定時に行う活動、長期休暇時の生活リズムの維持 等） ・食生活への意識（調理実習やおやつ作りで、おいしく楽しく食べる経験 等）	
	運動・感覚	・リズム運動（音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 等） ・体育館でスポーツ（遊び感覚で楽しみながら体を動かす 等） ・感覚に特性がある児童への配慮（落ち着くタオルやイヤーマフの使用、別室利用など環境設定 等） ・手先を使う創作活動（折る・切る・貼る・丸める 等）	
	認知・行動	・時間に関する認知の形成（タイムスケジュールの確認、タイマーの活用 等） ・季節への興味や感性を養う（季節がテーマの創作活動、季節の行事やイベントの実施。田植え・稲刈りなど農作業に関わる体験活動 等） ・場面に応じた適切な行動の育成（活動や関わりの中で日々の振り返り 等）	
	言語 コミュニケーション	・言語の受容・表出支援（朝の会や終わりの会での発言機会 等） ・言語の取得・聞く力の育成（絵本や紙芝居の読み聞かせ 等） ・言語に特性のある児童への配慮（絵カードやジェスチャーを使ったコミュニケーション支援 等）	
	人間関係 社会性	・アタッチメントの形成（安心できる環境作りや意欲の尊重など、信頼関係の構築 等） ・他者との関わり合いの形成（見立て遊びやごっこ遊び、等） ・協同遊びへの支援（役割などルールのある遊び 等） ・社会資源の活用（公園や図書館、体育館など公共施設等で室内外の活動、社会見学 等）	
家族支援	・個別相談 ・保護者が参加しやすいイベントの実施（交流や相談の機会を増やす）	移行支援	・卒業後の進路相談や情報共有、移行先との交流・連携 ・学校と連携した就労支援
地域支援・地域連携	・地域の関係機関と交流・連携 ・バラスポーツ協会や地域イベントの参加（有効活用・活性化）	職員の質の向上	・スキルアップ研修受講支援や、資格取得支援 ・障害特性を学ぶ研修の実施 ・虐待防止・権利擁護・身体拘束適正化を学ぶ研修の実施
主な行事等	・初詣、節分、花見、七夕、夏祭り、果物狩り、クリスマス会、餅つきなど、季節の行事 ・田植え、稲刈り、芋ほり、シイタケの菌打ち等、農作業に関わる体験活動（収穫物で調理実習） ・「ちゃんばら体操」「トランポリン教室」、また、地域の方が参加しやすいイベント行事（サンアピ祭り、立野事務所でバームクーヘンやカレー作り 等）		